

平田国学と飯田下伊那

「よりよい社会とは何か」という問いを「ご一新」の言葉にこめて幕末の動乱を駆け抜けた飯田下伊那の平田国学者たち。竹村（松尾）多勢子ら、その数は全国でもっとも多かったのですが、彼らの明治維新は『夜明け前』の主人公青山半蔵のように、挫折と敗北の物語として語られがちです。本当にそうだったのでしょうか。もう一つの「夜明け前」の物語があったのではないのでしょうか。リニア時代の「夜明け前」の今、伊那谷の新しい姿を描くヒントを見つけだしてみます。



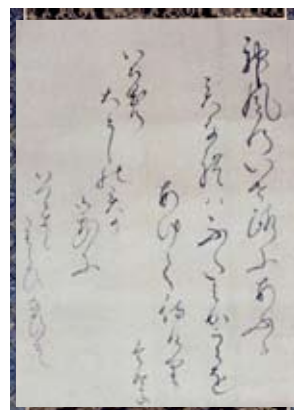
「伊那谷眺望」：幕末の伊那谷をたくさんの夢と人生が駆け抜けた

講師：青木 隆幸（当館専門研究員）

日時：令和元年 8月 25日（日）

13時30分～15時30分

場所：飯田市美術博物館講堂 聴講無料（申込不要）



「竹村（松尾）多勢子和歌」（当館蔵）：変革の予感、男たちではなく、まず一人の女性の胸に宿った



飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL 0265-22-8118 FAX 0265-22-5252

<http://www.iida-museum.org/>